

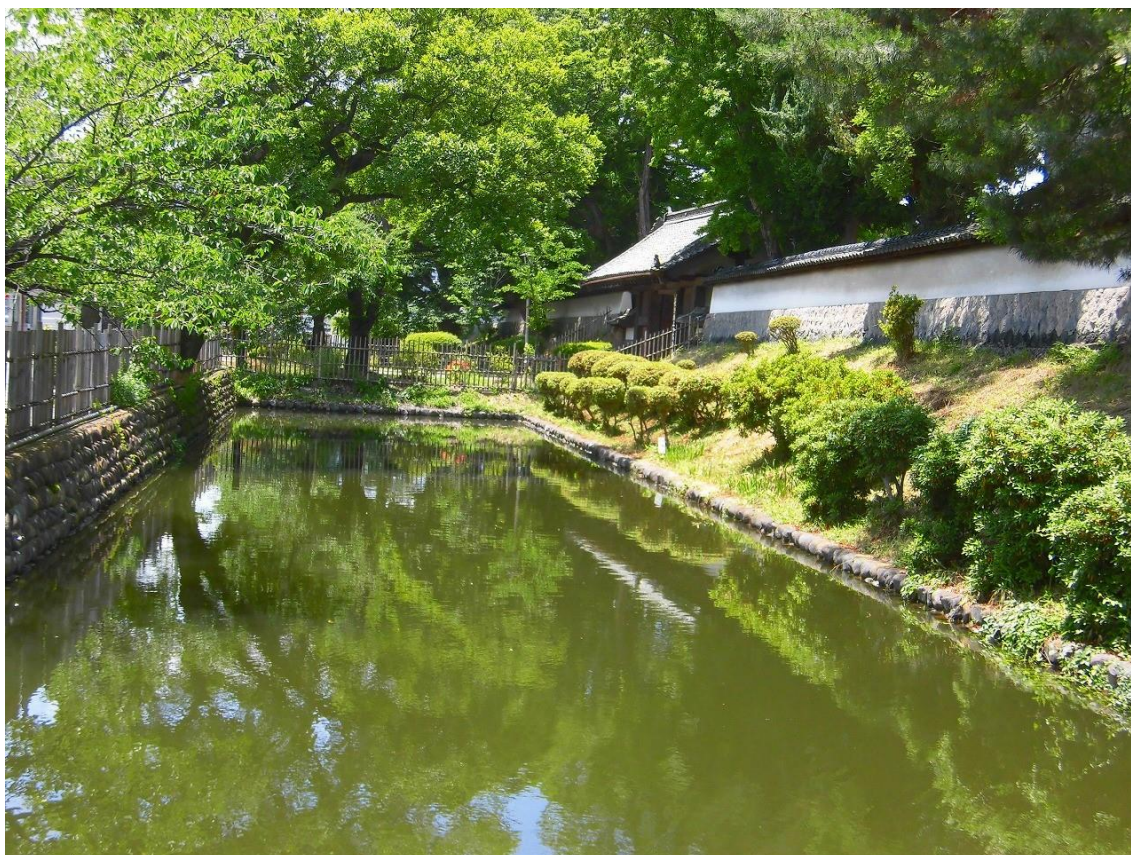
母校のお堀整備が完了 かつての姿で満水に

母校のお堀の浚渫工事が無事終了して、その様子が地元紙、信濃毎日新聞に大きく報道されました。6月13日付けの同紙には、上田高校同窓会が進めていた同校敷地内の堀の整備が完了して、6月12日満水になったとあり、記事の中で廣田校長は「市の指定文化財である堀や表門の維持管理については、県教育委員会と市教育委員会と継続的に協議していきたい」と話しています。40年ぶりに昔の姿が蘇った現在のお堀の写真（倉澤克彦同窓会事務局長提供）と、昭和55年秋に坂口浩先生（元母校の物理の教諭）が撮影した白鳥が泳ぐお堀の写真、昨年秋に筆者（上原）が撮ったお堀の写真を並べてみました。

母校創立120周年を記念して、多くの皆さんの募金により懸案のお堀の整備ができたことは、同窓生としての誇りでもあります。協力いただいた同期の皆さんにもお礼申し上げます。

〔2020年6月16日、関東同窓会会長上原昇（2組）記〕

【写真1：満水のお堀（20.6.13撮影）】



【写真 2：白鳥が泳ぐお堀（昭和 55 年秋）】



【写真 3:上田高校校門沿いのお堀（19.11.14 撮影）】

